



OPENCHAIN

Japan WG

2019年7月16日

独占禁止法順守ポリシー (Antitrust Policy)

- Linux Foundation (以下LFと略す) の会議は、産業界で競合関係にある企業同士の参加が不可欠です。LFは、すべての活動を、適用されるべきすべての独占禁止法/競争法に則って運営します。従って、会議の出席者は、アジェンダに沿って会議を進め、国内外の独占禁止法/競争法の下で禁止されているいかなる活動にも参加しないよう、注意を払うことが非常に重要です。
- LFの会議において、またLFの活動に関連して、禁止されている行動の例は、<https://www.linuxfoundation.jp/antitrust-policy/> から入手できるLF独占禁止法順守ポリシーに記載されています。これらの事項について質問がある場合は、あなたの会社の法律顧問に問い合わせるか、もしあなたがLFのメンバーであるならば、LFの法律顧問である Gesmer Updegrove LLP の Andrew Updegrove にお問い合わせください。

写真撮影および広報目的での使用の許可ご確認

- OpenChain JapanWGでの活動の状況を公開することで、
 - ✓ OpenChain本体への刺激になり、日本のプレゼンスが向上する。
 - ✓ 他国のOpenChain活動の刺激になり、OpenChain全体が盛り上がる。

といった効果が期待できます。

- また、参加者の皆様の社内に展開することで、自社内の活動を進めやすくなるという効果が期待できます。
- 上記の効果を得るために、本会合の様子の写真撮影、公開することに対して許可を頂きたく存じます。
- 写真撮影の禁止、および、公開の禁止を希望される場合は、お知らせください。写り込みが無いようにします。

OpenChainプロジェクトの紹介

OpenChain Projectとは？

プロジェクト メンバーシップ イベント トレーニング リソース ニュースルーム

The Linux FoundationのHyperledgerプロジェクトは、ビジネス ブロックチェーンのためのオープンソース エコシステムを構築しています

HYPERLEDGERのケース スタディを見る

OpenChainは、
世界最大のOSSコミュニティ
Linux Foundationの
公式プロジェクトです

共有技術への壮大な投資

The Linux Foundationは、サステナブルなオープンソースエコシステムの実現を助けるために、財源や知的資源、インフラ、サービス、イベント、トレーニングなどを提供しています。The Linux Foundationとその傘下のプロジェクトは協力し合い、共有技術を開発するための壮大で確実な投資を生み出しています。



16B USD

これはThe Linux Foundationがホストしている世界的なプロジェクト100以上の推定開発コストです



25,000

これは、Linux Foundationイベントに参加する年間技術者数で、85か国、4,500以上の企業が参加しています



1 Million

これは、わたしたちの無料オンラインに登録したオープンソースの人数です

THE LINUX FOUNDATION プロジェクト メンバーシップ イベント トレーニング リソース ニュースルーム 組織

OpenPrinting

OPEN SECURITY CONTROLLER

Open vSwitch

OPENAPI INITIATIVE

OpenBMC



OPEN DAYLIGHT

openHPC

OpenMAMA

OpenMessaging

Open SDS

Open Switch

OPENTRACING

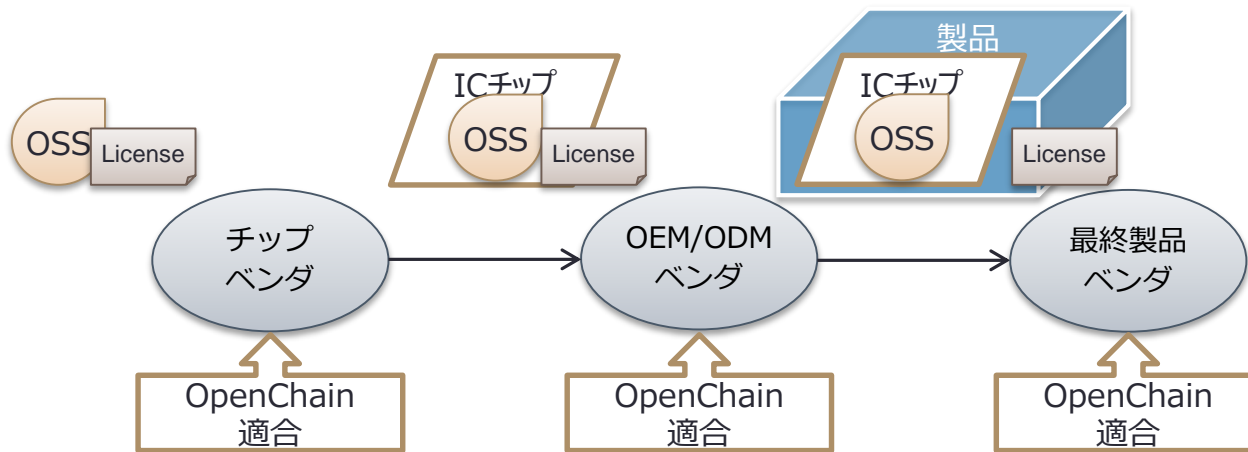
OPNFV

pnda



OpenChain Projectの目的

OSSサプライチェーン全体にわたる信頼を築くため、
サプライチェーンの参加者が各組織内に確立すべき
 コンプライアンスプログラムの要件をOpenChain仕様として定義し、
 その普及を推進する。



OSSサプライチェーン (組み込み機器の例)

OpenChainでは『仕様(Specification)』という言葉がよく使われますが、これは『コンプライアンスプログラムの要件』を指します。

OpenChainは、仕様(Specification)の定義と普及を目指しています。

3本の柱

- ◆ 仕様 (Specification) <https://www.openchainproject.org/spec>
 - 企業が組織内に確立すべきコンプライアンス プログラムの要件を定義。最新版はVersion 1.2で各国語訳あり<https://www.openchainproject.org/translations>
- ◆ 適合 (Conformance) <https://www.openchainproject.org/conformance>
 - 質問に回答することで、上記仕様への適合を自己認証。
 - 自己認証すると会社名とロゴがWebサイトに表示される。
- ◆ カリキュラム (Curriculum)
 - 仕様の要求事項の一つである社内教育プログラムに活用することを想定した、PowerPointスライド集

OpenChainは3つの柱でOSSサプライチェーン全体の信頼を構築します。

- ① 『仕様(Specification)』の定義にとどまらず、
- ② それを各社が『適合(Conformance)』することを促進するとともに、
- ③ 適合に向けた『カリキュラム (Curriculum)』も提供

プロジェクトの会員資格

プラチナ会員

- Linux Foundationの企業会員が参加できる
- 現在17社



arm



BOSCH



facebook

FUJITSU

Google

HITACHI
Inspire the Next



Qualcomm
Qualcomm
Technologies, Inc.

SIEMENS

SONY

TOSHIBA

TOYOTA

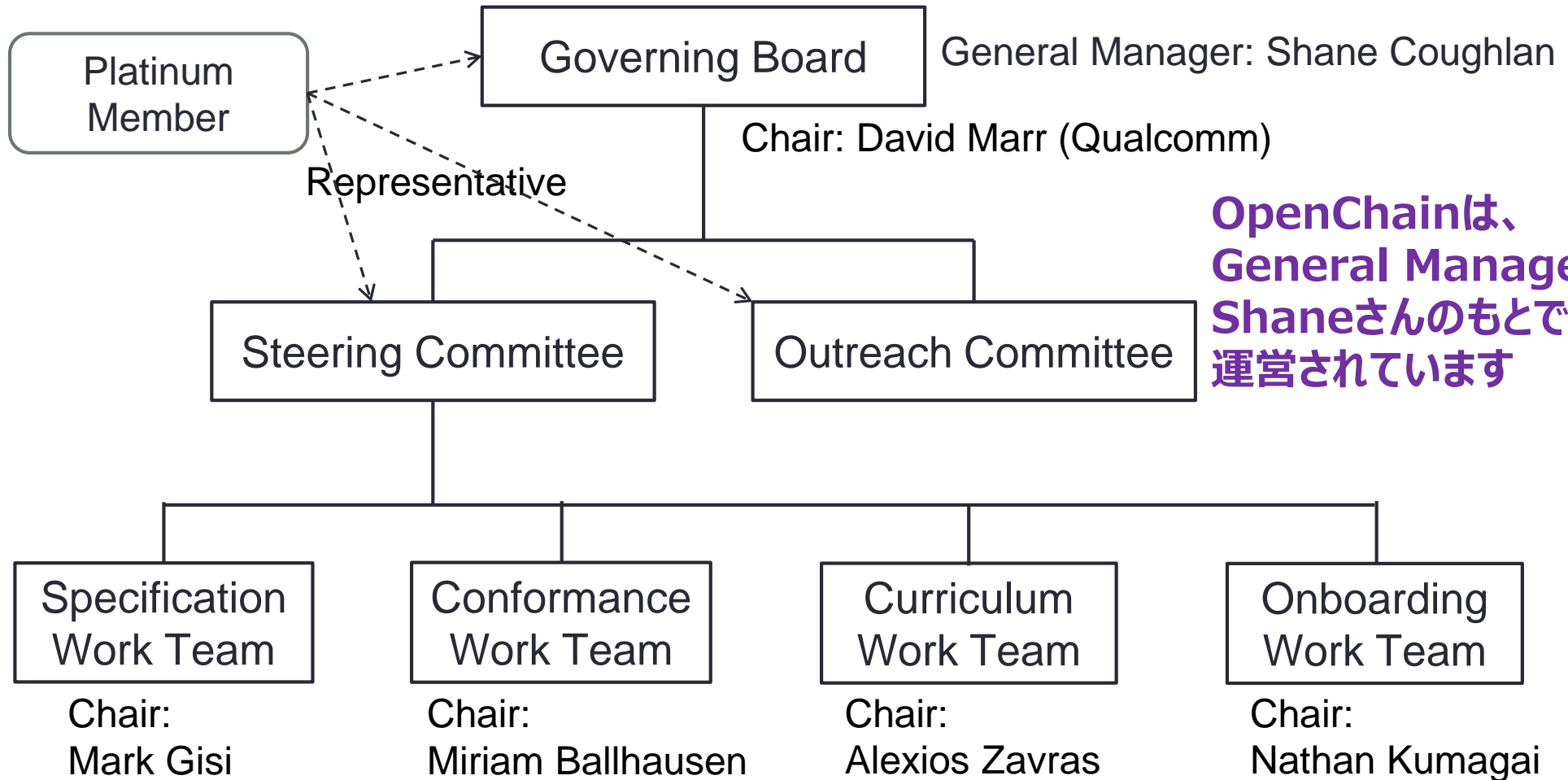
Uber

Western Digital.

コミュニティー会員

- 非営利のOSSプロジェクトおよび個人が参加できる

ボード会議、委員会、ワークチーム



OpenChainは、
General Managerの
Shaneさんのもとで
運営されています

OpenChain Japan Work Group

OpenChain Japan WG設立

- ◆ 2017年8月以降、トヨタ、日立、ソニーの日本企業がOpenChainに加盟。
- ◆ OpenChainの枠組みを使って面白いことしたいよね。
 - 日本でコンプライアンスの意識を高めよう！
 - 日本からアジアに向かってコンプライアンスの意識を高めよう！
 - コンプライアンスに対する課題に関して情報交換しよう！
 - 日本語で議論が出来る場を設けよう！
- ◆ 仲間作りが必要だよね！？
 - コミュニティを作ろう！

Japan WGは、日本企業同士の、日本語によるコミュニティです

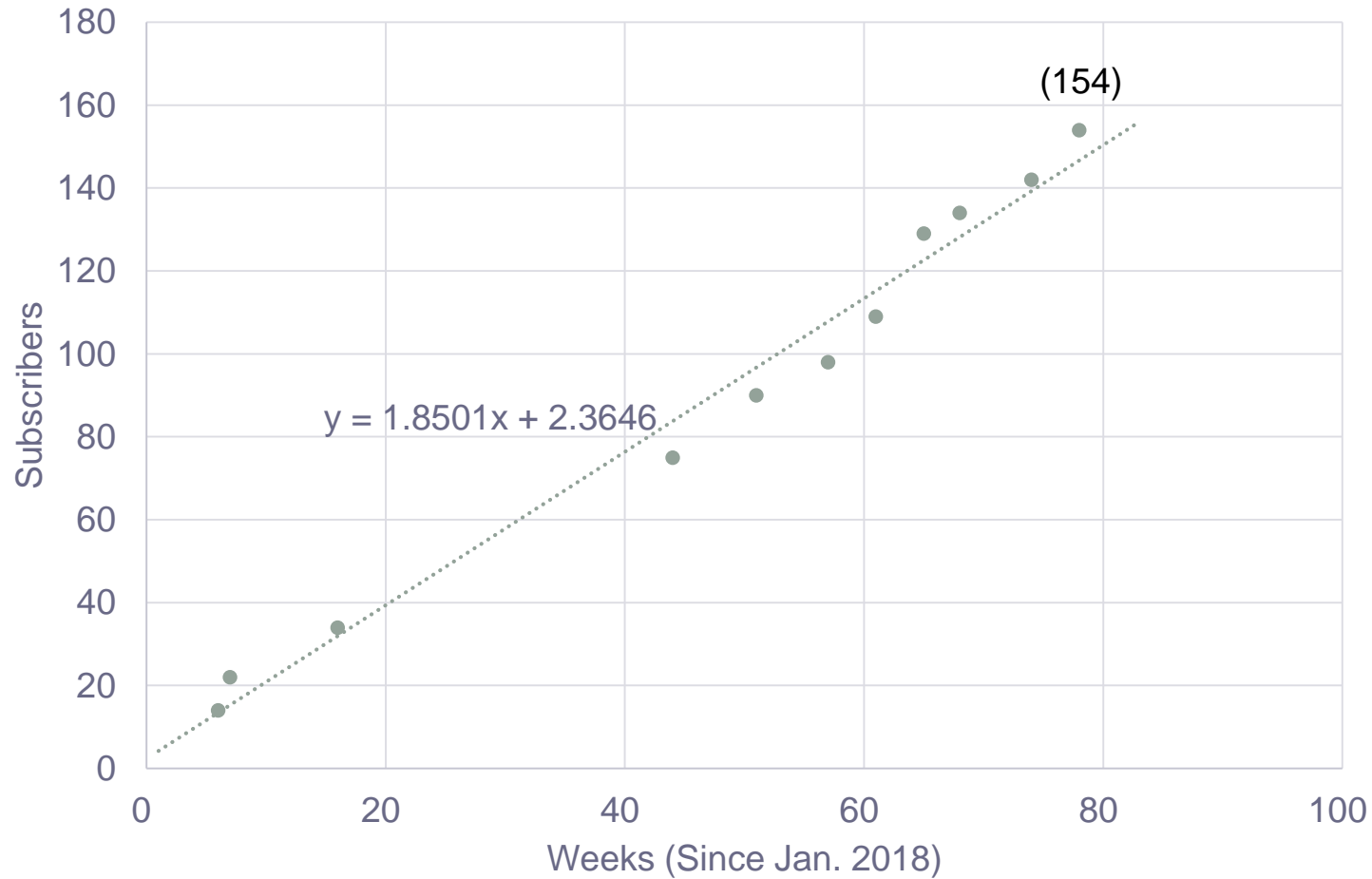
Japan WG 会合

- ◆ 第1回 会合 2017/12/27 @ソニー本社 クリエイティブラウンジ
- ◆ 第2回 会合 2018/2/22 @日立 (品川オフィス)
- ◆ 第3回 会合 2018/4/19 @Panasonic (Wonder Lab Osaka)
- ◆ Ad hoc会合 2018/6/8 @ソニー本社 クリエイティブラウンジ
- ◆ 第4回 会合 2018/6/13 @トヨタ自動車名古屋オフィス
- ◆ 第5回 会合 2018/8/31 @富士通川崎工場
- ◆ 第6回 会合 2018/10/31 @東芝 (ラゾーナ川崎東芝ビル)
- ◆ Ad hoc会合 2018/11/20 @デンソーテン
- ◆ 第7回 会合 2018/12/5 @テュフズードジャパン
- ◆ 第8回 会合 2019/2/28 @三菱電機 本社
- ◆ 第9回 会合 2019/4/18 @デンソーテン
- ◆ Ad hoc会合 2019/6/19 @DeNA
- ◆ 第10回 会合 2019/7/16 @富士通 (蒲田ソリューションスクエア)

サブグループ活動 / SWG

- ◆ Planning サブグループ
- ◆ FAQ サブグループ
- ◆ サプライチェーン上流向けリーフレット サブグループ
- ◆ 役割向け教育資料 サブグループ
- ◆ 組織間のライセンス情報授受 サブグループ
- ◆ プロモーション サブグループ
- ◆ ツール サブグループ

OpenChain Japan WG ML



<https://www.openchainproject.org/>

→ Get Started →

PARTICIPATE IN OUR ACTIVITIES

→ Japanese Mailing List

OpenChain Japan WG

- ◆ Website: <https://www.openchainproject.org/>

Get Started → Participate in our Activities

PARTICIPATE IN OUR ACTIVITIES

- ✓ Japan WG Wiki, Japan WG ML
- ✓ OpenChain Main ML, Specification ML
- ✓ OpenChain Work Team Conference Call

米国西海岸時間 第1月曜日 9AM、第3月曜日 5PM

- ◆ GitHub: <https://github.com/OpenChain-Project/>

- ✓ Japan-WG-General
- ✓ Onboarding-JWG
- ✓ Specification-Translations

- ◆ Slack: <https://openchain-japanwg.slack.com/>

OpenChain Japan Sub Work Group

OpenChain JPWG Planning WG

活動概要

- メンバー

- 今田、遠藤、上田、小保田、大内、浅羽、渡邊、小泉、加藤、日下部、青木
- 福地(報告者)

- 活動状況

- 全体会合調整

- Adhoc会合 2019年6月19日(水) DeNA(渋谷)
- 第10回 2019年7月16日(火) 富士通(蒲田)
- 第11回 調整中 2019年9月 オリンパス(北八王子)
- 第12回 調整中 2019年12月 NEC(東京)
- 第13回 調整中 2020年2月 DeNA(渋谷)

- F2F会議:1回 (5/29 @横浜)

- 全体会合開催方法改善に関する議論
- 第11回アジェンダ案

FAQ作成SWG

(FAQサンプル)

1.活動内容：OSSライセンス関連のFAQを作成して公開

2.活動開始：2018年10月18日キックオフ

3.参加人数：25名

4.成果物：「OSSライセンス関連でよくある誤解 V3」
近日、公開予定（FAQ:約20件）

5.検討ルール：

- ① 初心者向け、一般的な内容とする
- ② ライセンスの解釈がグレーな内容や、ビジネス毎に判断が必要な内容は記載しない
- ③ 通常はネット上（SLACK）で検討し、公開前にオフ会で内容を確認
- ④ 弁護士によるレビュー後に公開
- ⑤ FAQは、CC0-V1.0で公開
- ⑥ Chatham House Rule（情報は利用可、誰が言ったかは口外しない）を採用

禁止されていないならば、利用できる？

Question

インターネットのWebサイトにて、プログラムをダウンロードできるようになりました。特にライセンス条件がなく、商用利用も禁止されていないので、自社製品に同梱して利用してもいいですか？

Answer いいえ

- ◆ 無償でダウンロードできるものがすべてOSSとは限りません。
- ◆ 著作権法では、複製したり、改変したり、配布したりする権利は、著作権者が専有しています。
- ◆ これらの権利について、著作権者が許諾していない限り、ネットに掲載されたプログラムを自社製品に利用することはできません。

※ライセンス ※著作権 ©2018(パブリックドメイン) 3

Leaflet Project SWG: そもそもOpenChainのGoalって何?

上流からOSSについての**的確な情報**が
タイムリーに流れてくるようにすること
下流に対しても同様に流すようにする

OSSについての重要ポイントを少しでも
多くの人に知ってもらわなければならない

何が必要か、いつ必要か、なぜ必要か・・・そもそもOSSとは何か

少しでも多くの人に知ってもらうために



Open Source Software License
Compliance General Public Guide

- 冊子（16ページ）の制作
 - 日本語版： 2000部印刷
 - 英語版： 1000部印刷
 - 共にpdfファイルでの開示も（CC-0）実施
- サプライチェーン間での意思疎通に活用されるのみならず、社内教育に使われるなどのケースもみられる
- Open Source Summit Japanなどでも配布を予定
- 中国語版の用意を進めている

役割向け教育資料 SWG

1.活動概要

- メンバー
 - 小泉、福地
 - 岩田（報告者）
- 活動状況
 - F2F会議：4回 5/13、6/4、6/24、7/9（@日立）
 - 共通教育資料のシンプル・バージョンの詳細の検討、作成
 - 全体会合調整

2. 4社の事例の分析と提案

- a. 分析結果(付録1. 参照)
 - i. Spec.-2.0を満たすためにコンプライアンスプログラムの記載は必須
 - ii. Curriculumの過不足を配慮
 - iii. シンプル・バージョンはパンフフレットの後続資料の位置付け
 - iv. 各社の一般向け基礎教育の共通内容を考慮

- b. 共通教育資料のシンプル・バージョンの内容の提案
 - a. のi. ~ iii. は必須項目とし、iv. の共通内容を重点的に、iv. の一部内容は概略的に、説明する方向で詳細化を図る。

- c. 『役割毎の分担と責任の明確化』の例示(付録2. 参照)
Spec.-2.0上での役割の必須要件の例示

3. シンプル・バージョンの案作成と日程

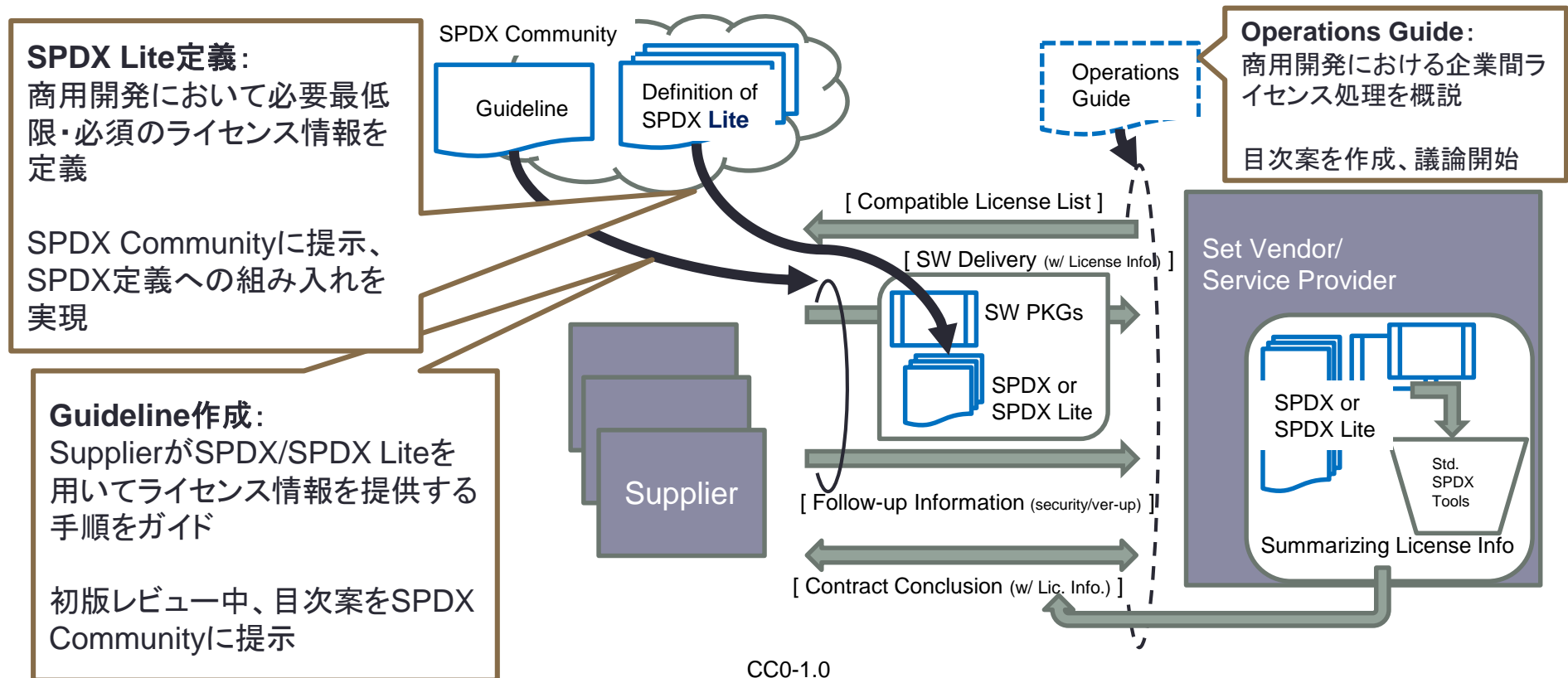
- a. 事例分析から、下記章立てで作成開始
OSS概説、知的財産権、OSS活用、ライセンス、
コンプライアンスプログラム、まとめ、問い合わせ先、
出典・参考情報
- b. 案作成の検討を通して、下記章立てに変更
知的財産権、FOSSライセンス、
FOSSコンプライアンスプログラム、FOSS導入時の検討、
レビュー、FOSS配布、まとめ、問い合わせ先、
参考文献・団体
- c. 先ず、日本語版の第1次案をGitHubにアップ
11月のOSS EUにて英語版の第1次案をGitHubに
アップ予定

組織間のライセンス情報授受 SWG

- 企業間で必要な情報を明確化(参加メンバ企業の直接的な課題)

- ✓ ライセンス情報として必要な情報の定義する
- ✓ 高負荷にならないように、最低限の情報として定義する

→ SPDXコミュニティとの連携が進展：SPDX Lite定義、ガイドライン議論



Tooling SWG

- 活動の主軸：
参加メンバー間でツールに関して議論

- 成果目標
 - ツールに関する入手可能な情報をまとめる
 - ツール紹介や関連セミナー開催
 - 情報の流通過程とツールのマッピングを行い不足を洗い出す
 - 関連するコミュニティへの提案
 - ツールが管理する「データ」の流通手段
 - SPDXツールやOSS開発コミュニティとの連携方法

- 今までの活動

開催日時	実施内容	参加状況
第1回 2019/3/13	<ul style="list-style-type: none"> ● CFP確認と今後の活動方針についての議論 	7社 14名
第2回 2019/4/25	<ul style="list-style-type: none"> ● SPDX Toolsの紹介 ● コンプライアンス管理ツール SW360 ● OpenChain Tooling WG活動状況紹介 	16社 28名
第3回 2019/6/20	<ul style="list-style-type: none"> ● OpenChain仕様を考慮した SW360の運用 ● Brief Introduction into ClearlyDefined ● FOSSologyのCLI / REST APIを叩いてみた 	11社 19名

次回開催： 8月29日(木) 参加者募集

OpenChain JPWG Promotion WG

そもそもOSSコンプライアンスの重要性を認識していない人々に
戦略的なプロモーションを展開（メンバー募集中です！）

レベル別



対象別

